

## 競技注意事項

1. 2021年度（公財）日本陸上競技連盟規則に準ずる。
2. スタートに関して、TR16.5.1-3（Setの合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等）を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
3. トラック競技におけるTR5.13に違反するシューズでの出場は認めない。800m未満の種目は靴底の最大の厚さは20mm、800m以上は最大25mm。リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適応する。
4. フィールド競技においてはTR5.5（靴底と踵について）を適用しない。よって、記録は国内でのみ通用するものとなり、WAへの申請も行わない。しかし国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合は、競技終了直後に全員のシューズを検定する場合がある。
5. トラック競技における番組編成は、主催者において公平に抽選する。  
また、選抜大会においては棄権者が多く出場者が少ない場合は組み合わせを変更することもある。
6. フィールド競技の順序はプログラム記載の試技順序による。
7. 競技者招集所は100mスタート後方の競技場入り口付近に設置する。
8. 競技者の招集は次による。  
代理人による招集は認めない。但し、種目を兼ねて出場する者で同時に2種目出場する者は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。  
招集開始時間...トラック30分前、フィールド40分前  
招集完了時間...トラック20分前、フィールド30分前  
リレー競技に出場するチームは、招集完了の60分前までにプログラム掲載（後ろのページ）のオーダー用紙に必要事項を記入の上招集所に届け出ること。  
その他①ハンマー投は、50分前に開始し、40分前に完了する。  
**\*ハンマー投競技は、7月4日（日）日本大学陸上競技場にて実施する。**  
②棒高跳は招集を現地で行い50分前を完了とする。
9. 抗議について TR8を適用する。
10. 助力について TR6を適用する。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像確認は認めない。
11. 携帯電話、ビデオカメラ、音楽プレーヤーなどは、競技場内に持ち込むことはできない。応援の仲間に預けてから招集を受けること。フィールド種目の現場で発見された場合、現地で預かり、総務を通じて返却することになる。
12. アスリートビブスは胸、背部に確実につけること。（但し、跳躍種目はどちらか一方でも良い。）  
3000m以上の個人種目では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400mリレーの4走者、1600mリレーの4走者において右側の腰につけること。1600mリレーの2から3走者は、サイドビブスを両側に着けること。  
サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。
13. リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする。  
ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
14. トラック種目については写真判定装置を使用する。1年生種目において、800mまでの決勝に時間により進出する最後の1枠に同成績がいる場合は0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、800mを除いて抽選を行う。800mの場合は1つのレーンに複数割り当てる。1500m以上の種目で最後の1枠に同タイムが出た場合、同成績者は次のラウンドに進出できるものとする。審判長判断で男子5000mW、女子5000mWはスタートから30分以降新しい周回に入ることはできない。
15. 競技用具は競技場備え付けのものを使用する（棒高跳用のポールは各自持参）。  
但し、持参した用具の使用を希望する者は検査を受け使用許可を受けること。また、許可された用具は他の選手にも使用させねばならない。

16. 跳躍・投てき競技について

①バーの高さ及びバーの上げ方

種目	練習								
男子走高跳	1m70 1m85	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	1m99	以後 3cm
女子走高跳	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	以後 3cm
男子棒高跳	任意の 高さ	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	以後 10cm	4m60	以後 5cm
女子棒高跳	任意の 高さ	2m20	2m40	2m60	2m70	以後 10cm			

練習の高さ及び最初の高さについては、天候や出場選手の状況により跳躍審判長の判断により変更する場合もある。

②男女走高跳は、A・Bの2ピットで行う。

③男女走幅跳および三段跳について

上記の跳躍種目については、出場選手多数のため3回目までA・Bの2ピットで行う。上位8名による4回目以降も同様に2ピットで行う。

④三段跳の踏切板の位置は、砂場から男子11m、女子9mとする。

⑤砲丸投について

最初の有効試技は全員計測する。それ以降は、記録が更新されたものだけ計測する。2番目の記録による順位決定は行わず、同順位とする。

⑥やり投、円盤投について

3回目終了時に全員を計測し、TOP8を確定する（ペグ方式）。4回目以降もペグ方式で計測する。

17. 今年度は全国高等学校総合体育大会の壮行会は行わない。出場者は名簿を参照のこと。

18. 本競技会は、第76回国民体育大会の選考競技会とする。

19. 表彰について

1年生種目、選抜大会共に1位～8位まで賞状を授与する。表彰は行わない。1年生大会、選抜大会共に男女各1名の優秀選手に賞状を授与する。

20. 大会期間中のゴミは各自分別し持ち帰ること。なお、競技会終了後各支部は清掃を行なうこと。

7月10日...第1、第2、第3支部の学校。責任者は各支部長。

7月11日...第4、第5、第6支部の学校。責任者は各支部長。

21. 競技場内通路にはシートを敷いてはならない。

22. 競技中の事故については主催者によって応急処置は行なうが、それ以後の責任は負わない。

23. 競技場のウォーミングアップについて。

①ウォーミングアップエリアは第2コーナーから第3コーナーまでとする。

②ウォーミングアップについては、審判、役員の指示に従うこと。

③ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしないこと。

④ウォーミングアップエリアへは、トラックの外側を通って行くこと。その際、競技の妨げにならないよう気をつけること。

24. 応援について

グラウンド内での応援は一切禁止とする。

25. 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めること。(p.00を参照)

26. その他不明な点は大会総務まで照会下さい。

27. 今年度の全国高校総体は福井県で行われます。出場選手にご声援を。